

APP

問APP(インギング) ☎042-513-3307 <http://www.app-top.jp/>



●SFIDA KG-1115

価格:1万5750円
ローター適正温度:50~800℃
摩材:カーボンメタル
適合車種:エッセ、アルトバン、コペン、ほか

GOODコストパフォーマンスで 街乗りからサーキットまでOK

ブレーキホースでおなじみのAPPからリリースされるブレーキパッド「SFIDA」。ラインナップは3種類あり、中でもこの「KG-1115」はもっともスポーティなモデルとして位置付けされる。当然、スベックに応じて価格も高いのかと思いきや、予想に反してうれしいロープライス!これは試してみる価値大だ!!

カーボンメタルパッドの特色は、ガッツリした効きをメタル材で出しつつ、カーボン材でローター攻撃性や効き味をコントロール。アタリ付けも重要で、装着してから接触面が均一になるまでナラシを実施し、仕上げにカーボン被膜を形成させる焼き入れをおこなう。なんだか難しいような儀式ではあるが、要はどんなパッドも最初はアタリが付くまでおとなしく走るのは同じこと。普通に街乗りで100kmも走れば、あとは徐々に強くブレーキを踏んで効きを確認すればいいぞ。

●ブレーキフルード SUPER DOT4

価格:2940円/1ℓ
仕様:グリコール系 DOT4、
ドライ沸点286℃/ウェット
沸点176℃

APPからはサーキット対応のブレーキフルードもリリースされる。シール類にやさしいグリコール系なので、街乗り使用もOKだ。



摩材はレースパッドの定番となるカーボンメタル。立ち上がりからシッカリした制動感があり、しかもコントロールが楽な味付だ。

OGK Kabuto

問:オージーケーカブト ☎06-6747-8031
<http://www.ogkkabuto.co.jp/>

この季節に 役立つヘルメット



●カムイ・エレガンツァ

価格:2万6775円
カラー:ガンメタ、シャイニーブルー、シャイニーレッド
サイズ:XS、S、M、L、XL
規格:SG(自動二輪車用)

去年の夏にゲットしたNEWヘルメットが、やっと本領を発揮し始めた。OGKカブトの「カムイ」はインナーシールド採用モデルで、西日兼用の人にオススメだ。



走行や車線変更、バック用フルフェイスヘルメットでも十分な性能は4輪競技用だが、夏場でも暑さ対策が買える。ヘルメットは左のワンアクションで下ろせるインナーシールドにより、西日の強いコートでも境界線は良好。バグ用ならこのヘルメットだ。

Defi

問:デフィ ☎03-3835-3639
<http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/>



●スマートアダプター

価格:1万6800円
アプリ仕様:アンドロイド Ver.2.2以上/Bluetooth Ver.2.1以上
アプリ価格:525円、一部無料

ウワサのDefiメーターアプリを 早速インストールしたぞ!

このたびデフィから新発売された「スマートアダプター」は、既設メーターのアドバンスシステムに追加できる無線送信ユニット。スマホのアプリでメーターを集中表示できる画期的なアイテムだ。ちょうどHIDEツッセにはアドバンスBFメーターが装着されているので、追加はポン付け。今回は速度&回転信号ハートとインマニ計測センサーを追加し、モニタ表示をフル活用してみた。これはカッコイイぞ!!

HIDEツッセは、スマートアダプターを装着するだけで、メーター表示が集中表示できる。また、回転信号センサーを追加すれば、回転数も表示できる。

アプリのメーター表示は2種類あり、このBタイプは、ロード可能。A/B/Cの替えタイプは525円だ。

スマートアダプターは、回転数センサー、速度センサー、インマニセンサー、モニタ表示をフル活用して、モニタ表示をフル活用してみた。これはカッコイイぞ!!

●詳しいインプレッションはP50へ→

カッティングシートでプチメイク



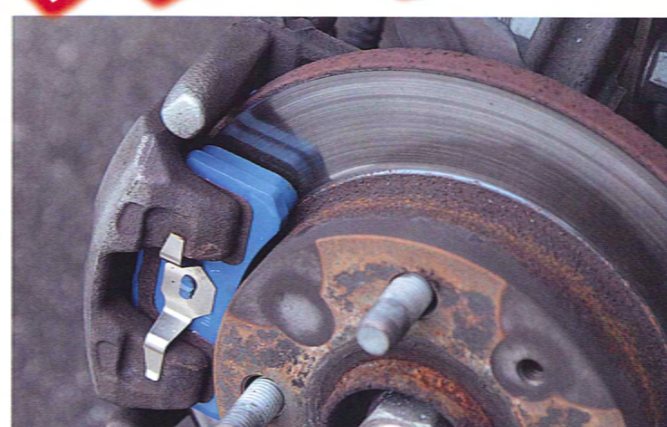
たまたま近所のカーショップが閉店セールを実施しており、在庫カッティングシートが9割引き!思わず買ってエッセにレーシングライクもどきを施したが、予想以上にメタリックが強くホデイ色とのコーディネートに失敗してしまっ。ま、こんなチャレンジもこのコーナーならではの楽しみだ。



ESSE GT Vol.24 計画

去年はサーキット走行も精力的にこなし、タイヤも擦り減って交換。当然、ブレーキパッドも残量が気になる状態だったので、今回交換することにした。消耗パーツをギリギリまで使うのは危険なので、早めが肝心だぞ!

トラブルる前に、早めの ブレーキパッド交換

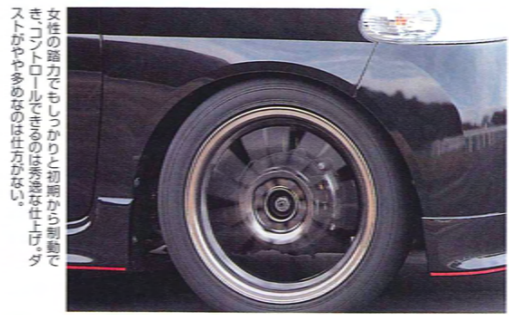


長らくこの企画を連載していると、当然消耗パーツも減って交換の時期が来る。昨年のタイヤ交換に引き続き、ブレーキパッドにも交換の時期がやってきた。

街乗りメインだと、パッド残量3mmはまだまだ粘れそうに思うが、ひとたびサーキットを走れば残量半分以下は危険ゾーン。ブレーキパッドというのは高温になるほど消耗が進むので、意外に国際レーシングコースの方がブレーキが冷えて消耗しにくく、ミニサーキットの方が冷えずに消耗したりするのだ。だから「ミニサーキットの走行は厳禁。コースレイアウトや乗り方を考慮しつつ、残量が半分になったら予備のパッドを用意しておくくらいの準備は必要だぞ。」

さて、HIDEのエッセも昨年からサーキットをちょくちょく走るようになり、短時間とはいえ全開で攻める機会も増えてきた。ヨメさんもサーキットデビューしたし、「こは早めにパッド交換して安心しないとネ。そして今回装着したのは、前から気になっていたAPPの「SFIDA KG-1115」。かなり高温まで対応するカーボンメタルパッドなのに、お安い価格が魅力的!

実際に装着して走ってみると、本格レース用パッドより初期から効いて女性の踏力でも安心。なおかつ、コントロール性も上々なので、ウチのエッセには大正解のチョイスとなったのだ。



初期から効くぞ~!

スフィダKG-1115は、初期タッチからグッと効く感触。ハイグリップタイヤとの相性が良く、ロックさせずにコントロールできる。